



Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 大島 浩嗣
幹事: 稲葉 徹
会報委員長: 高木 勝

例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
例会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
Mail: 2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY 2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I.会長グレンE・エステス・シニア

第1202回例会

~職業奉仕・米山月間~

2004年10月28日(木) 晴 第16回

司 会: (天野正明会場委員長)
体 操: ストレッチング(倉澤 寛会場委員)
斉 唱: 「日も風も星も」

会長挨拶

大島浩嗣会長

2月、3月は受験シーズン。こんな常識が今覆されつつあります。面接や小論文などを通して、人物重視で選抜するアドミッションオフィス(A.O)入試で早々と大学合格を手にする高校生が増えています。意欲を見てもらえるとA.Oを選択、10月中旬の面接やグループ討論で自己アピールをし、出願から3週間程で朗報が届きます。合格後はアルバイトに、英語検定試験を受けるための勉強にと、充実した毎日を送り、友人との旅行も計画、春先に繰り広げられる悲喜こもごもの合否劇とは無縁であります。



A.O入試はここ数年増える一方です。2000年度の入試では、75校だった実施大学は、2002年入試で4倍弱の286校に上りました。特に私大の実施率は2003年秋には6割に達しました。

A.O入試の増加や、学力試験がない推薦入試枠の拡大が進む一方で、毎年1月以降に行う学力試験中心の従来からある選抜方法は減り始めました。文部科学省の調査によりますと、1999年度入試まで全入学者に占める割合は約7割だったものが2002年度入試では約6割になりました。入試を取り払い、学びとはなにか、大学で何を学びその為に高校で何をすればいいのか、高校生に考えてほしい反面、入試の多様化は様々な問題も抱えているようです。A.O入試の実態を調べたところ、合格者数が定員を超える大学や、6月に合格発表をしている大学もあり、私大の少なくとも2割が出願者全員が合格していることも分かってきました。卒業生の実績から、高校に推薦入学者枠を与えるはずの指定校推薦ですが、実際には今年初めて卒業生を出すある新設校に約20の大学から申し出があったり、約100の大学から指定校推薦の枠をもらっても生徒が使うのは2割程度という高校も珍しくなく、私大の3割は定員割れというのが実情です。そうしたことも背景にあるようです。

予備校関係者は、米国のように競争のなくなる大学、一定の資格があれば入れる大学、誰でも入れる大学の3種類に分かれていくだろうと見ています。少子化が進み、生き残りをかけて必死の大学、その存亡に関わる入試が揺れています。

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・会員の濱田輝雄君から、仕事上の理由で休会届けが提出され、理事会にて承認されました。期間は平成17年6月30日までです。これに伴い組織変更として、環境保全委員長に田中政雄君、副委員長に細川達也君が決定しました。
- ・副会長の館健吾君から、ロータリー定款第7条第2節(理由ある欠席・免除)による資格適用申請について、申請書の提出があり、理事会にて承認されました。
- ・次週11月4日(木)に第5回理事会を4階「桜園の間」にて開催致します。関係各位はご出席お願い致します。
- ・市内22RCが分担して支払う国際奉仕協賛分担金として、例年通り15,000円を支払いました。
- ・「大阪国際大会記念切手の特別販売」のご案内をメールボックスに入れてあります。ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。
- ・10月31日より11月3日まで、姉妹提携クラブ台北延平RCを大島会長はじめ8名にて訪問します。25周年記念のご案内を兼ねて3月の公式訪問の打ち合わせをしてきます。
- ・10月25日(月)の福岡西RC訪問では、25周年のご案内と会員増強について貴重な話し合いが出来ました。今後のクラブ運営に生かしていきたいと思っております。

出席報告

稲垣 豊出席委員

会員76名 出席57名 (出席計算人数56名)

出席率87.5%

10月17日は補填により 80.36%
10月14日は補填により 98.21%
10月7日は補填により 98.21%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋東			11/22(月)※	
名古屋守山		11/17(水)		
名古屋東南		11/17(水)	11/24(水)	
名古屋中			11/22(月)※	
名古屋和合		11/17(水)		
名古屋名北	11/10(水)			
名古屋大須		11/18(木)※		
名古屋栄				11/29(月)◆
名古屋名南	11/9(火)◇		11/23(火)※	
名古屋昭和	11/8(月)	11/15(月)※		
名古屋錦			11/23(火)※	11/30(火)◇
名古屋東山		11/18(木)		
名古屋空港	11/8(月)※		11/22(月)※	
豊山一城北			11/23(火)※	
西春日井		11/16(火)	11/23(火)※	11/30(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

・2週続けて欠席しました。東海クラシック、日本オープンと無事終了しました。 泉 憲一君

・1.大島会長以下5名で福岡西RCへ25周年PRに行きまして。とても有意義な訪問でした。

2.先日の4RC親睦コンペ残念ながら我が瑞穂はドベ!でした。参加者が少なく残念でした。そんな中で大川さんのベストスコアグロス76は立派でした。記念コンペには多数参加願います。 野崎 洋二君

・新潟大地震、お見舞い申し上げます。 長坂 邦雄君

・1.10月25、26日と福岡西RCへ25周年のご案内と会員増強の打ち合わせをし、翌日古賀CCにて雨の中ゴルフをしました。野崎さん、大島さん、高須さん、お世話になりました。10月31日から11月3日まで台北延平RCへ行ってきます。

2.宗宮さん、花路での約束覚えていてくれてありがとうございます。家族で楽しみました。 稲葉 徹君

・大川さん、36インおめでとうございます。 遠山 堯郎君

・10月25、26日福岡西RC訪問して参りました。同行の野崎さん、稲葉さん、増田さん、岩田さん、高須さん、ご苦労様でした。

大島 浩嗣君

・ホームクラブの欠席が続きました。 岩本 成郎君

・皮膚科の田中先生にお世話になっています。 布目 徳君

・水谷由紀夫先生に大変ご厄介になりました。 武田 誠君

・田口さんにいい女を紹介してもらいました。 内田 久利君

・震災を受けた方々を思うと心が痛みます。 吉木 洋二君

・先日は大和ご夫妻、岩田ご夫妻ともども楽しい時を過ごすことができ有難うございました。 落合 諭君

・敬老祝有難うございました。今後も宜しくお引き立ての程お願い申し上げます。 嶺木 一夫君

・10月23日、結婚記念日でした。 馬場 将嘉君

・1.地震被災地の方々にお見舞い申し上げます。頑張ってください。2.明日10月29日は結婚記念日です。早いもので真珠婚の日を迎えることになりました。 近藤 雄亮君

・例会欠席が続きました。10月21日は私の誕生日でした。

西本 哲君

・先般、名古屋市市長より敬老祝品をいただきました。10月19日は私の満80才の誕生日でした。明日10月29日は結婚記念日です。 森 真佐雄君

福岡西RC訪問

10月25日(月)に国内友好クラブである福岡西RCを訪問し、25周年記念式典のご案内と会員増強についてのご指導をいただきました。



委員会・同好会報告

野球同好会:馬場将嘉君

11月4日(木)に名古屋中RCと試合があります。試合時間は6時~7時まで、集合時間は5時です。場所はナゴヤドームの正面玄関となります。遅れない様をお願いします。

卓話

松井善則君

「出向5年間を振り返って」

私は5年前、ライラ委員会に出向しました。豊田RCがホストクラブで研修会を開催しました。2年目は知多RCがホストクラブのはずでしたが、急遽尾張旭RCになり、1年前倒して副委員長を仰せつかりました。そして皆様の助けをいただいて委員長を務めさせて頂きました。そして今までのライラ委員会の慣例で、委員長になった次の年は委員をもう1年務めることになっており、4年間は委員をやらなければいけないと覚悟を決めておりました。そしてもうこれでお役ご免だと思っておりましたら、翌年にホストクラブである豊川の委員長が、私に内緒で書類を提出し、承認を受けた後に知らされました。といった経緯がありまして現在もライラ委員を務めている訳です。



出向していた当時を振り返ってみますと、地区によってさまざまな会合・例会があるのだと驚いたことがあります。ある打ち合わせをした際にお酒ができたことがありました。正直びっくり致しましたが、お酒が入っているからなのか通常の会合に比べ、発言が多く有意義なものになったと記憶しております。また、2ヶ月に1度はゴルフ場で例会をするということも驚かされたことの一つです。

また、この5年間に思いましたことは、新世代やライラなど、次の世代をになう若者を育て導いていかなければならないと痛切に感じました。ライラやローターアクトなどのセミナーに、もっと個性的で活発な若者が参加しないかと思っております。以前に講師として招いた事のある若者と話をする機会があり、モンゴルの厳しい環境の中、1週間生活をすると10人中8人は人生観が変わるのだそうです。うちの長男の孫などを見ておりますと、家の中でゲームをし、田舎へ行きました際もゲームをして過ごし外へは出ませんでした。それに比べて、アメリカで生活しております次男の孫たちが来た時は、家の中や倉を探検して回り、みかん畑に連れて行けば木に登ったり大変活動的でした。やはり子供というのは、うちの中でテレビやゲームをして過ごすだけでなく、外で遊んでいる姿が自然のことなのだと思つづく思いました。

少々脱線したお話になりますが、アメリカにおります次男夫婦の中1の長男が、軍隊の予備軍に体験入隊をしております。教官と同乗してグライダーにも乗っているということだそうです。全てにおいて国からの援助があり、無料なのだそうです。アメリカではそのようにして、国をあげての支援体制が整っているのです。このように子供のうちからいろいろなことを体験させれば、個性的な人物に育つかも知れません。日本の子供を見ていると、教育の画一化、少子化による入試試験の簡素化など、没個性化をしていく様に思えてなりません。少し人とは違っていいので、そういった人材をいかに探して育てていくのか、それがこれからの各委員会の課題であると思っております。

今週卓話

11月4日(木)

会 員 卓 話: 本多清治君

テ — マ: 「ロータリー財団月間によせて」

次週卓話

11月11日(木)

卓 話 講 師: 地区環境保全委員長 國分孝雄氏

テ — マ: 「愛知万博のこぼれ話」